

2019年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
新潟県地域セミナー 報告書

日時	2019（令和1）年7月1日（火）13：30－16：00
会場	新潟県庁2階203会議室
参加者	17名 （新潟県教育庁2名、市教育委員会6名、推進校担当者7名、新潟医療福祉大学1名、日本体育大学1名）
プログラム	<p>13：30 開会挨拶 新潟県教育庁保健体育課 課長 灰野正宏</p> <p>13：35 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業について 日本体育大学 特別研究員 秋和真澄</p> <p>14：00 パラリンピック教育の実際について 新潟医療福祉大学 准教授 左近慎平</p> <p>14：30 事業の進め方について、事業の具体化 新潟県教育庁保健体育課 副参事 前田友晴</p> <p>15：00 意見交流</p> <p>16：00 閉会</p>
内容	<p>はじめに、本学より事業概要、教材、アンケート調査について説明を行なった。オリンピック・パラリンピック教育の実践について、新しい取組として実践を行なうよりも、既存の教育および取組を活用し、推進校担当者が負担を感じることなくオリンピック・パラリンピック教育を実践していただくよう伝えた。</p> <p>続いて、新潟医療福祉大学の左近氏よりパラリンピック教育の実際について紹介があった。「身体障害者（下肢に障害がある人）は私たちのようにスポーツができるのか」をテーマとした小学校での事例を参考に、子どもたちの「気づき」を深める授業展開例を紹介した。</p> <p>さらに、新潟県教育庁より事業の進め方について説明があった。オリンピック・パラリンピック教育の具体例を多く提示するとともに、新たに作り出すのではなく、今あるものを活用し、他教科・他領域との連携をすることで学校全体での取組にしてほしいと話した。</p> <p>意見交流では、各推進校の実施計画を共有し、現状の課題や不明点等に対して意見交換を行なった。推進校を管轄する各市教育委員会も交えて話し合いが行なわれたため、推進校と市教育委員会との協力体制が整えられた。外部指導者に関する質問が多く挙げられたが、オリンピックやパラリンピアンにこだわらず、地域の特徴・人材を活用した講師選定を促した。</p>



意見交流の様子